

単元名 せつめいのしかたに 気をつけて読み、それをいかして書こう

配当時間 14 時間

単元の目標 (1) 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
(2) 事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。
(3) 事柄の順序に沿って構成を考え、おもちゃの作り方を説明する文章を書こうとする。

標準的な展開例

02010213_001

【教材名】馬のおもちゃの作り方／おもちゃの作り方をせつめいしよう

(下 P. 39～P. 49)

【準備等】知多の友

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 おもちゃの作り方を説明することを知り、学習の見通しをもつ。 ★自分が説明するおもちゃを探そう。 ○自分で作ったことのあるおもちゃを紹介する。</p> <p>○自分が説明するおもちゃを探す。</p> <p>3～5 「馬のおもちゃの作り方」を読んで、説明の工夫を見付ける。 ★説明の工夫を見付けよう。 ○「馬のおもちゃの作り方」を読んで、文章のまとまりや順序を確かめる。</p> <p>○説明が分かりやすい文章に線を引く。</p> <p>6～7 説明の工夫を紹介し合う。 ○自分のおもちゃ作りにも使えそうな表現を発表する。</p> <p>○教科書 (P. 45) 「たいせつ」を確認し、説明の仕方で気を付けたいことを確認する。</p> <p>8～9 本文を読み、学習の見通しをもつ。 ★説明する文章の書き方を知ろう。 ○教科書 (P. 46～47) を読み、学習の進め方を確認する。</p> <p>○教科書 (P. 48～49) 「けん玉の作り方」を読み、説明の工夫が使われているところを見付ける。</p> <p>10～12 説明する文章を書く。 ★おもちゃを説明する文章を書こう。 ○説明する題材を決める。</p> <p>○作り方を順番に書き出す。 ○説明する文章を書く。 ・材料と道具 ・作り方 ・遊び方</p> <p>13 書いた文章を読み返し、推敲する。 ★書いた文章に間違いがないか確認しよう。 ○書いた文章を読みながら、実際におもちゃを作るなどして、必要なところを修正する。</p> <p>14 説明する文章を読み合い、読んだ感想を伝え合う。 ★説明する文章を読み合って、感想を伝え合おう。 ○教科書 (P. 49) 「ふりかえろう」で学習を振り返り、手順を説明するときに気を付けることを確認する。</p>	<p>・本単元は、「知多の友」に掲載されているので、十分に活用したい。</p> <p>・生活科と関わらせ、おもちゃ作りを想起させて発表させる。 ・自分の作ったおもちゃの中から探させる。</p> <p>・「材料と道具」「作り方」などのまとまりに分けて書かれていることに気付かせる。 ・まず、次に、さいごになどの順序を表す言葉の働きを確認する。 ・実際に、説明の通りおもちゃを作らせ、分かりやすかった文章やあるとおもちゃが作りやすくなる文章に気付かせ、線を引かせる。</p> <p>・教科書 (P. 44) 「せつめいのくふうを見つかる」を参考にして発表させる。 ・説明するときに、絵や写真があるとより分かりやすいことを確認させる。</p> <p>・前単元を想起させ、学んだ「説明の工夫」を使って、おもちゃの作り方を説明する文章を書くことを知らせる。 ・順序を表す言葉に着目させる。 ・分かりやすいと思う言葉にサイドラインを引かせる。 ・絵が果たしている役割についても、確認させる。 【評】例文を読み、書かれている内容を考える活動を通して、情報と情報との関係に気付く「知識・技能」を評価する。</p> <p>・生活科や図画工作科で作った物から決めさせるとよい。 ・知多の友 (P. 30) を活用する。 ・知多の友 (P. 31～33) を活用する。 手順に合わせて、順序を表す言葉を適切に使うよう指導する。 【評】説明する文章を書く活動を通して、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する「思考・判断・表現」を評価する。 【評】説明する文章を書く活動を通して、よりよい説明の仕方を考えようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・文のねじれや誤字、脱字がないかを確認させる。</p> <p>・同じおもちゃを作った児童同士で交換させて読ませるのもよい。</p>

【 備 考 】